



藤井寺市

観光ボランティアの会

20周年記念誌



令和元年7月11日 鍋塚古墳

## 「ふじいでら」の魅力を伝えて20年

### 観光ボランティアの歩みとこれから

藤井寺市観光ボランティアの会会長  
松村 義子



藤井寺市観光ボランティアの会は平成17年に創立され、藤井寺の魅力を伝え、地域が賑わうことを願って活動を続けてまいりましたが、ここに20周年の記念すべき年を迎えることができました。この間、本会の運営にあたり歴代の役員はじめ会員の皆様のご尽力、また藤井寺市観光協会および諸団体のご協力に深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

本会では、藤井寺が誇る世界文化遺産「古市古墳群」をはじめとし、史跡、寺社、文化財などを巡る観光ガイドを中心に活動し、さらには、春季・秋季のふじいでらウォーク、市内の小学

生を対象とした世界遺産学習のフィールドワーク、「梅まつり」や「藤まつり」など、さまざまなボランティア活動を行ってまいりました。

20年の歴史の中での最大のできごとは、なんとといっても令和元年7月6日、ユネスコによる「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録でしょう。大阪府初の世界遺産登録であり、微力ながら本会の活動が古墳の魅力発信の一助になったものと誇りに思っております。

その後、新型コロナウイルスの流行により、活動自体が制限される時期もありましたが、令和7年4月には、アイセルシュラホールがリニューアルされ、新しい活動の場が広がりました。

今後も、会員の皆様と藤井寺の歴史の素晴らしさ奥深さを、様々な工夫を凝らし伝えていきたいと考えております。

30周年にむかい、引き続きお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

藤井寺市長 岡田 一樹



藤井寺市観光ボランティアの会が創立20周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

観光などで来訪される方々を温かく迎え入れ、本市の魅力を伝え続けてきてくださった皆様の長年にわたる活動は、今や藤井寺市の観光振興にとって、欠かすことのできないものとなっております。これまで貢献いただきました皆様の日々のご尽力に、改めて心より感謝申し上げます。

さて振り返りますと、令和元年7月6日には大阪で初めて「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産に登録され、本市も世界から注目を浴びることになりました。また、令和7年4月には大阪・関西万博の開幕に合わせて、アイセルシュラホールがリニューアルオープンし、1階には新たな観光案内所機能を備え、2階では迫力満点の古墳ジオラマや近現代の藤井寺の懐かしい風景パネルを展示するなど、国内外からの観光客の皆様にも足を運んでいただけるよう取り組んでまいりました。

このようなことから、国内をはじめ海外からお越しになる方々に関心を深めていただき、満足してお帰りいただけるよう、お出迎えいただく最前線の皆様の活躍の場は、今後ますます増えてくることが期待されます。引き続き、地域活性化のため、本市の魅力発信にお力添えをお願い申し上げます。

終わりに、藤井寺市観光ボランティアの会の今後のますますのご発展と、会員皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

藤井寺市観光協会会長 篠田 朋宏



藤井寺市観光ボランティアの会の皆様、創立20周年、誠におめでとうございます。創立以来、貴会は地域の観光資源の発掘や情報発信に尽力され、多くの観光客を呼び込むとともに、地域経済の活性化に大きく貢献されました。特に、世界文化遺産の百舌鳥・古市古墳群や日本遺産の葛井寺、梅の名所道明寺天満宮など、歴史と文化が薫るこの街の魅力を国内外に発信する上で、重要な役割を担ってこられました。会員の皆様の日々のご努力と、関係者の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

令和7年は、大阪・関西万博が開催されました。これを契機として世界各国の皆様がOSAKAに興味を持っていただける機会でもあります。近年の観光ニーズといたしましても、地元の人との交流やリアリティを求める需要は徐々に高まっており、地域の魅力を深く掘り下げて紹介されている貴会の取り組みは、益々必要になってくるものと思っています。

また会員の皆さまにおかれましても日々の知識やサービスの向上に努めている姿を見ておりますと、今後の活躍を想像させられます。今後も、貴会が地域の観光振興の中核として、更なる発展を遂げられることを期待しております。持続可能な観光地域づくりに向けて、共に力を合わせていきましょう。

結びに、藤井寺市観光ボランティアの会のさらなる発展と、皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。

## 藤井寺市教育委員会 文化財保護課課長 新開 義夫



この度は、藤井寺市観光ボランティアの会創立20周年、おめでとうございます。現在、70名以上の会員を擁し、藤井寺市内の寺社や古墳など、歴史資産見学に訪れる来訪者への案内、解説といったガイドを担われ、大きな存在感を発揮しておられます。

毎年ご一緒させていただいているものの一つに、世界遺産学習の一環で市内の小学生が古墳を巡る、フィールドワークがあります。各古墳の説明ポイントで会員の方に古墳の解説をしていただいています。手持ちのパネルなどを使われ、専門的な内容を小学生にも分かりやすく、楽しく説明されています。内容もさることながら、とても工夫された説明の技術には、いつも感心し、このようにすれば良いのかと勉強させていただいているところです。

会員の方々は、日ごろから知識の習得に余念がないとうかがっています。郷土の歴史講座などに私もお招きいただきますが、皆さんの知的欲求への真摯な姿勢には、いつも圧倒されています。私自身、皆さんに負けないように、もっと研鑽を積みねばとあらためて思うことしきりです。

藤井寺市観光ボランティアの会は、これからも発展を続けていきます。地域の歴史の語り部として、皆様がますます活躍されることを祈念しています。

## 藤井寺市市民生活部 産業創造室 観光課課長 裏野 友基



この度は20周年、誠におめでとうございます。諸先輩方多数おられるところ誠に僭越ではございますが、観光課を代表いたしましてお祝いを申し上げます。

観光課がアイセルシュラホールに事務所を移転したのが令和4年4月の事でした。これまで数々の問題もございましたが、一つ一つ問題に向き合い、令和7年4月には晴れてシュラホールがリニューアルオープンすることができました。これも偏に松村会長をはじめ、会員の皆様、会OBの皆様の協力があったの事と、とても感謝をしております。

私自身は令和6年度より観光行政に携わらせていただいておりますが、まだまだ勉強不足です。皆様が教えてくれる情報は私にとっては、とても良い勉強になっています。また、皆様が楽しそうに活動されている様子を拝見しておりますと、我々にも力を分けていただいている気がしてとても嬉しく思っています。20周年は一つの通過点だと思います。今後も30年、40年、50年を目指し、元気な活動を見せてください。

近年は気候の変動が激しく、急激な天気の変化や気温上昇などが日本各地で起こっています。特にガイドをされる際には水分補給や十分な休息が求められます。くれぐれも無理をなさらず、お体には十分ご自愛いただき、長く活躍していただきたいと切に願います。これからもより一層のご活躍を期待しております。

## 「歩く・しゃべる・調べる」が観ボラ会員を支える ガイド部 小田島 洋子

私が観ボラに参加したのは、10周年の年でした。その後、古市古墳群が世界文化遺産に登録され、たくさんのお客さまをお迎えしました。しかし、コロナの感染によりガイドの機会が激減。その後、活動は徐々に回復してきましたが、観ボラにも大きな変化が出てきました。従来からのメンバーの高齢化に加え、社会の変化に伴い、仕事しながらボランティアに参加される方が増えてきています。

そのため、活動がどうしても限られた方々になりがちです。とくに、ウォークガイドにおいて、この傾向が顕著です。そこで、定点でのガイドや短時間のウォークなどを工夫してきました。今年から始まったシュラホールの案内などは、現状にそくしたよい活動であると思います。

ある人の曰く、高齢者がいつまでもいきいきと生活するための三原則は、「歩く」「しゃべる」「調べる」だそうです。まさに、私たちの活動そのものですね。

## 伝統を受け継ぎ、未来へつなぐ観光ボランティア イベント部 野久保 芳郎

藤井寺市観光ボランティアの会が、20周年の記念すべき日を迎え、盛大なるお祝いの機会を迎えられたことを喜ばしく思います。

会の創立から20年と言う歴史の積み重ねのなかで、発起人の方々の並々ならぬ努力や、幾多のすぐれた諸先輩方の良き指導や全会員の良識により、方針を誤ることなく20周年を迎えられた事は光栄であります。

私たち会員は、現在70名ほどですが、過去にいろいろなジャンルで技を極めたスペシャリストばかりです。

また、地元愛、郷土愛たっぷり、藤井寺を訪問された方を世界文化遺産の古墳や、神社仏閣をボランティア精神でご案内します。

先輩諸氏の献身的、奉仕的精神に敬意を払い、良き伝統を次世代に受け継ぐ必要があります。藤井寺市観光ボランティアの会が、ますます、発展するように頑張っていきたいと思っております。

## 講座と現地研修会でガイド力の向上 研修部 塩尻 節夫

研修部は、会員のガイドに役立つ知識の充実を図るため、研修行事を立案し実施しています。まず座学は、年5回ほど文化財保護課の先生方と当会員による講義方式で実施しています。文化財保護課の先生方からは幅広い知識を吸収させていただいています。最近多くなっているのが会員による研究発表です。折角調べられた事柄を個人だけのものにしておくのはもったいないです。会員にも共有させていただいています。現地研修会は年3回ほど実施して見聞を広げています。

「郷土の歴史講座」は、門戸を市民に広げ、新人勧誘の目的も兼ね、観光課と文化財保護課の協力を得て継続・実施しています。毎年他市からの参加者が若干名おられます。

新入会員にはガイド力向上を図るため、座学・現地研修・ガイド実地研修などを実施しています。ガイドテキストは内容の充実・点検等が進み、現在第4版を全員で共有しガイドに寄与しています。今後も会員の研修の充実を図るべく努力していきたいと考えています。

## 「みんなが知っている観ボラ」を目指して

広報部 北山 吉一

私は平成26年入会です。今年で11年になります。入会の翌年に10周年記念の平群での記念宴会に参加させていただきました。大変楽しい思い出です。ボランティアで古墳等を案内している人たちが、歌ったり、踊ったりでそのギャップの大きさに感心させられたことを思い出されます。

広報部では各イベントのチラシを作成したり会報を発行したりしていますが、もっともっと多くの方々に参加していただくには、どのようにすればいいのかと部会でもいろいろ検討をしています。せめて、藤井寺市民の大多数は「藤井寺市観光ボランティアの会」はよく知っているよ。といってもらえるような会にしないと……。この先10年、20年の目標として、皆が知っている「藤井寺市観光ボランティアの会」になるよう皆で努力しましょう。

## 「HP開設」16年の活動と新たな取り組みへ ホームページ・IT部 勝部 鎮

会員の皆さま、日頃からホームページへの投稿や写真の提供、ありがとうございます。皆さまのご協力で、平成22年3月にホームページを開設してから16年目を迎え、更新は1200件を超えました。開設してから今日まで、毎週、絶えることなく更新を行ったこととなります。

開設当初は、ウォークのモデルコース、当会作成観光マップの掲載が主でしたが、その後、ボランティアガイドの目で見えた今の藤井寺の魅力や歴史の紹介など10種類のページを設け、誘客に努めました。また、古市古墳群の世界文化遺産登録を意識したページ作りは、民間レベルでの登録推進機運の盛り上げにも一役買いました。

当会の活動は、いつも「おもてなしの気持ち」を大切にしています。その一環として、ウォークで藤井寺に来られた方に、オリジナルのガイドコースマップを作成し、お渡しをしています。現在までに500件以上のガイドコースマップを作成しました。これも他の団体にはあまり見られない当会の誇りの一つです。

最近の情報収集の手段は驚くほど多くあり、こうした時流への対応が今後の課題になっています。結成20周年を機に、今後とも会員の皆さまと一緒に、より一層読みやすいページ作りや新たな課題に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いします。

## 「歩いて、喋って、勉強して」 観ボラライフ

会計部 林 良和

私が退職したのは67歳。当時は60歳定年だったので、7年間は会社役員としてのおまけでした。そんな訳で、何をやるわけでもなくブラブラと過ごしていると、腰が弱って、坐骨神経痛になりました。医者からは「運動しなさい」と言われ、何をしようかと悩んでいると、「観光ボランティアでもやってみれば？」と妻から言われ、「それも面白そうかな？」と思い、藤井寺市観光ボランティアの会に入りました。歩いて、喋って、勉強して、健康にも良いし、脳の老化も防げると思いました。

入会した年に、10周年記念の宴会があったので、そこから10年が経過したこととなります。

## 20周年を振り返り

入会した当時は、やさしくしごかれ、愛のムチに打たれながら、ふなれなガイドをする私に先輩達は呆れていました。

その後も間違いながらも、ガイドすることが楽しくなってきました。これこそ楽しい余生の過ごし方と思っています。

### 「次の30周年へ」 定例会に参加の会員とのつながり 事務局 安田 啓子

20周年を迎え観ボラでのいろいろな事が思い出されます。

会長は昨年度から7代目の松村会長です、今年度の会員数は71名です。

最初の頃の定例会は商工会の2階で開催し、その後パープルホールでも行い、定員数の関係で次は土師ノ里支所の2部屋を数年使用しておりました、今はシュラホール視聴覚室や福社会館を貸していただき開催しております。

皆さんが元気で明るく定例会に出席されて、顔を拝見してお喋りすることも定例会の楽しみの一つです。

これからも次の30周年をめざし、ガイドなどではお客様に楽しみ喜んで帰っていただき、私達も常に元気と笑顔でお客様に接し、楽しいガイド時間をもちたいと思います。

そして会員の集まる場をたくさんつくり会員間の交流を深めていきたいと思っています。

### 観ボラ行事とは違ったイベントを企画 レクレーションプロジェクト 山口 光夫

「次はどこに行くの」と度々訊かれる、心待ちにさせていただけるのはありがたい。

発足してほぼ4年・・・といってもメンバーはひとり、

会員の皆が楽しめる「観ボラのガイドや現地研修会などとは違ったイベント」ということでレクレーションプロジェクト(R.P.)は発足しました。

オープン企画は「明神山と大和川唯一の沈下橋を渡ろう」でした。以後実施したイベントの数は40をうわまわります。

「チンチン電車 貸切ツアー」・「大阪市内 渡船ツアー」など、「他所ではないものを」という独自性を意識した、中でも「藤井寺市の国境を巡るツアー」は他に類がないと自負します。アウトドアだけでなくインドア企画も実施、メルカリ教室・スマホ教室・PAYPAY教室等を観ボラ会員のサポートをうけながら実施しました。

今後は「レクレーションプロジェクトがあるから観ボラに入会した」という会員があらわれるまでに魅力あるものにできればと思います。

しかしながらここにきて「催しもの」も底がみえてきました。みなさまからの魅力あるイベントの提案をおまちします。

世界文化遺産登録決定 古室山で万歳 号外配り



世界文化遺産登録に喜ぶ  
(古室山後円部で)



バンザイ後に集合



道明寺駅前で号外を配布



藤井寺駅前で号外を配布



多彩な講師陣で「ガイド養成講座」から「郷土の歴史講座」へ



「ガイド養成講座」から  
「郷土の歴史講座」へ





旧道明寺東幼稚園園庭で道明寺東小学校の生徒達と共に製作



入念な縄張り



形が整ってきた



小学生も参加



完工 出来栄えや!

イベント参加・メディア出演



H25 千手観音 息ぴったり



R7 葛井寺で紙芝居



R2 古代衣装お似合いです

R7 藤まつり「まな  
り君」がお迎え!  
中は誰でしょうか?



H29 道明寺歴史  
まつり



H28 虎のパンツ 踊る鬼さん



H30 朝日放送ラジオ  
に出演



R2 ラジオ大阪  
の取材



R3 古代の仕事を体験



H 30  
社協フエスタ

R7 BSフジの番組  
津堂城山古墳で黒谷  
友香さんを案内



R4 古墳にコーフン  
古代の戦士に仮装

歩いて・見て・聞いて・学んでいます



H27 松原市・美原町の史跡を歩く  
(中高野街道)



H27 松原市・美原町の史跡を歩く  
(柴籬神社)



H28 河内源氏の郷を訪れる  
(壺井八幡宮)



H29 長尾神社と竹内街道周辺を  
歩く  
(長尾神社)



R2 長持形石棺を覗ける、葛城氏  
の墓といわれる室宮山古墳



R3 新沢千塚古墳群公園を歩く



R4 亀の背の地滑りで埋まってし  
まったトンネルをバックに



R5 佐紀古墳群から平城京へ  
(神功皇后陵古墳)



R5 中世からの情緒と風情を残す  
今井町を歩く



R5 情緒と風情を残す今井町を歩  
く  
(華薨 はないらか)



R5 檀考研で復元修羅の牽引実験  
に使った修羅石を発見!



R7 垂仁天皇陵から西大寺へ歩  
く  
(垂仁天皇陵)



R7 天理参考館から石上神宮へ歩  
く  
(天理教本部)



R7 天理参考館から石上神宮へ歩  
く  
(石上神宮)



R7 烏帽子形城跡を歩く  
(烏帽子形城跡)



H27 小学生のフィールドワーク  
熱心に古墳の話を聞いています



H27 「大坂の陣 四百年祭」  
雨の中、多数の参加者でした



H27 春季ウォーク開催  
さあ〜、みなさん行きますよ！



R1 羽曳野クリンウォークに参加  
(応神天皇陵古墳)



R1 世界文化遺産決定後の秋季ウォーク  
全員気合が入っています



R5 大阪・奈良 歴史街道リレーウォーク  
(石川・玉手橋)



R7 20周年記念ウォークは残念ながら雨、お疲れさまでした



R7 20周年記念ウォーク後の楽しみ抽選会  
(シュラホール)



R7 南大阪国際語学学校の学生さんとフィールドワーク

### お楽しみ会・集合写真

20周年記念 全員集合



みんなでワイワイ  
お花見ですよ



R P 岐阜県 薄墨桜



R P 明石大橋を歩く



石川でカンパニー



BBQ 準備よし！



20周年記念 全員集合

## しらんやろ～ ふじいでら 知ってそうで、知らない「ふじいでら」を巡る

20周年記念ウォーク実行委員 森 芳明

創立20周年を記念して、今までのウォークとは一味違った20周年記念ウォークを開催することになり、「昔のふじいでらの風景や、知られていない地点を紹介」、そしてゴールのシュラホールで抽選会を行う案に決定しました。

明治後期まで舟運で活躍した川舟の舟板が残る民家の壁、境内を近鉄電車が走る澤田八幡神社、大鳥塚古墳の第2次世界大戦時の戦争遺構、昭和2年に大阪鐵道（現近畿日本鐵道）が開発した、藤井寺経営地内に分譲した民家・教材園跡・藤井寺球場跡などを巡るルートとしました。

さて当日、残念ながら小雨の降る天気となりキャンセルのお客様もでしたが、当日参加の方を含めて55名のお客様に参加していただきました。途中の休憩所では古墳型の菓子を召し上がって頂き、小雨が降るなか傘をさしながらガイドの話に熱心に耳を傾けていただきました。

ゴールでの抽選会の景品には、会員手作りの履き心地満点の布草履、古墳をアップリケしたトートバッグ、藤井寺市特製デザインの保温水筒などの景品を揃えて、ゴールに到着するお客様をお待ちしました。

ウォークの疲れは、景品を手にとって癒やしていただけたと思います。お客様からはスタッフにお礼の言葉をいただき疲れも吹き飛びました。

計画から試歩、資料、景品作成に奮闘していただいた実行委員や会員、休憩所を提供していただいた藤ヶ丘1・2丁目自治会、抽選会場設営に協力していただいた観光課の皆様のご協力で、20周年記念ウォークを無事終えることができました、紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



▲ 出発前のスタッフミーティング



▲ 「木槌樹」のある西宮境内で



▲ 「豪華景品！の抽選会」で疲れも吹っ飛ば



実行委員会委員：足立敦子、網本かほる、中澤良美、野久保芳郎、森芳明、安田啓子、山口光夫、吉田千恵 サポート：岡田行史

## 20周年記念大会を終えて

藤井寺市観光ボランティアの会副会長 桃井克夫

3月10日、松村会長から記念大会が会員の協力で開催できたと、感謝の言葉から始まりました。

第1部の司会は勝部が担当しました。演目最初の「観ボラ20周年の歩み」では、その歩みを心温まるBGMが流れる中、初期の市民祭・春季・秋季ウォーク、10周年の平群での集いに写る若き日の姿を映像で辿りました。「同期会員の紹介」では、個性溢れる話も聞けて、「今までのナイスビュー」の選りすぐりの写真紹介では、四季折々の藤井寺の景色が映されました。「会員へのアンケートの結果」では一押しの古墳が応神天皇陵古墳を押さえて、意外にも古室山古墳が1位を獲得しました。

第2部は一転して賑やかに、司会は藤村が担当しました。お揃いの衣装の「千手観音」の踊りで始まり、「大喜利」では身近な喜怒哀楽の一句が、「観ボラ吹奏楽」の微妙なハーモニーを楽しみ、最後は「みんなで歌おう」で懐かしの歌を歌い、全員で盛り上がりました。

閉会の挨拶は私、次の30周年への引継、心身元気で一年ずつ、と締め括りました。



▲2005年度入会者から、2025年度入会者までが舞台上で自己紹介



懐かしい古墳のジオラマを展示



シンクロナイズド「千手観音」お見事!



「観ボラ20年の歩み」広報部



「大喜利」HP・IT部



「みんなで歌おう」イベント部



「ナイスビューから」HP・IT部



「観ボラ吹奏楽」有志



「アンケート発表」研修・ガイド部

# いいとこ ふじいでら まち散策

## 16 葛井寺

第45代聖武天皇の勅願で建立された。春日仏師（稽文会・主勲）に命じて国宝の千手千眼観世音菩薩を作らせ、行基が開眼した。



## 6 伴林氏神社

軍事を担った大伴氏の遠祖・道臣命を祀る。西の靖国神社とするため、昭和15年靖国神社から手水舎が移築された。



## 19 道明寺

聖徳太子開基の尼寺・土師寺。菅原道真公は叔母覚寿尼公の住まいする土師寺をよく訪れられた。国宝：十一面観音立像



## 20 道明寺天満宮

土師氏の氏神・土師社。学問の神様・菅原道真公を祀る、梅の名所としても知られる歴史ある神社。国宝：道真公の御遺品6点



## 1 ★津堂城山古墳

明治45年大王級を葬る長持形石棺を発見。



複製

## 15 辛國神社

物部氏一族の辛國連が祭祀を司った辛國神社。



## 21 ★仲哀天皇陵古墳

周濠に水を満々とたたえた美しい御陵。



## 13 澤田八幡神社

境内を近鉄電車が走る珍しい神社。



## 23 アイセルシュラホール

観光拠点として歴史文化の情報発信を行う複合施設。



## 45 誉田八幡宮

応神天皇を祀る神社で、安産・厄除けの守護神として信仰されている。

国宝：塵地螺鈿金銅装神輿・金銅透彫鞍金具



## 29 道明寺合戦記念碑

の碑

凡例  
 ・★印の古墳は世界文化遺産  
 ・巡礼街道の赤線道路は想定経路



Copyright 2013 藤井寺市観光ボランティアの会

- |             |              |              |             |              |
|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| ① ★津堂城山古墳   | ② まほらしろやま    | ③ 大和川付替の碑    | ④ 善光寺       | ⑤ 松永白州記念館    |
| ⑥ 伴林氏神社     | ⑦ 志貴県主神社     | ⑧ 国府遺跡 旧石器   | ⑨ 尊光寺 伴林光平  | ⑩ ★允恭天皇陵古墳   |
| ⑪ 潮音寺 衣縫孝女碑 | ⑫ ★鍋塚古墳 (登)  | ⑬ 澤田八幡神社     | ⑭ ★仲姫命陵古墳   | ⑮ 辛國神社       |
| ⑯ 葛井寺       | ⑰ ★古室山古墳 (登) | ⑱ ★三ツ塚古墳     | ⑲ 道明寺       | ⑳ 道明寺天満宮     |
| ㉑ ★仲哀天皇陵古墳  | ㉒ ★鉢塚古墳 (登)  | ㉓ アイセルシュラホール | ㉔ 赤面山古墳     | ㉕ ★大鳥塚古墳 (登) |
| ㉖ 盾塚古墳 (復原) | ㉗ 弘法大師お休み石   | ㉘ 道明寺五重塔礎石   | ㉙ 道明寺合戦記念碑  | ㉚ 道明寺磧の戦い跡   |
| ㉛ 玉手橋       | ㉜ 割塚古墳       | ㉝ 蕃所山古墳      | ㉞ ★応神天皇陵古墳  | ㉟ ★誉田丸山古墳    |
| ㊱ ★二ツ塚古墳    | ㊲ ★東馬塚古墳     | ㊳ ★栗塚古墳      | ㊴ 薄田隼人の碑    | ㊵ 野中寺        |
| ㊶ ★はざみ山古墳   | ㊷ 野中宮山古墳     | ㊸ ★東山古墳      | ㊹ ★野中古墳 (登) | ㊺ 誉田八幡宮      |
| ㊻ 仁賢天皇陵古墳   | ㊼ ★青山古墳      | ㊽ ★浄元寺山古墳    | ㊾ ★墓山古墳     | ㊿ ★向墓山古墳     |

注：三ツ塚古墳は、八嶋塚古墳・中山塚古墳・助太山古墳で構成される。(登)は墳丘に登ることができる。

20年の歩み

- 平成 17 年 9 月 藤井寺市観光ボランティアの会創立総会 会員 35 名 初代会長 林 隆次を選出
- 11 月 第 1 回ガイド「わが街・史跡ウォーク」を実施
- 平成 18 年 9 月 「市民まつり」にテントブースで初参加
- 平成 19 年 2 月 春季ウォーク、10 月には秋季ウォークを開催
- 4 月 第 3 回総会において第 2 代会長 幸田 保を選出
- 平成 20 年 3 月 「大阪・奈良 歴史街道リレーウォーク」に第一幕から参加
- 4 月 第 4 回総会において第 3 代会長 中西 明を選出
- 6 月 会報創刊号を発行
- 7 月 市立小学校の校外学習を始める（平成 24 年フィールドワークに移行）
- 平成 21 年 2 月 道明寺天満宮「梅まつり」でテントブースを初設置
- 平成 22 年 2 月 道明寺天満宮「梅まつり」で奉納俳句を初募集
- 3 月 ホームページを立ち上げ
- 平成 23 年 4 月 第 7 回総会において第 4 代会長 小野 常芳を選出
- 4 月 葛井寺「藤まつり」でテントブースを初設置
- 平成 24 年 11 月 大阪府社会福祉大会で「大阪府知事賞」を受賞
- 平成 25 年 9 月 個別ガイド用の「オリジナルコースマップ」を作成開始
- 平成 26 年 1 月 赤面山古墳修復に参加
- 11 月 道明寺合戦記念碑建立に協賛
- 平成 27 年 2 月 創立 10 周年記念として道明寺天満宮に「枝垂れ梅」を奉納植樹
- 7 月 「創立 10 周年記念誌」を発行
- 平成 28 年 10 月 「市政施行 50 周年秋季ウォーク」を実施
- 11 月 大阪府社会福祉大会で「厚生労働大臣表彰」を受賞
- 11 月 市制施行 50 周年記念で藤井寺市から「感謝状」を受賞
- 平成 29 年 1 月 英語ガイド研究会を立ち上げ
- 4 月 第 13 回総会において第 5 代会長 鈴木 繁實を選出
- 7 月 国の文化審議会世界文化遺産部会が「百舌鳥・古市古墳群」の推薦決定
- 平成 30 年 9 月 ICOMOS（イコモス）による「百舌鳥・古市古墳群」の現地調査
- 令和元年 7 月 アゼルバイジャンのバクーで「百舌鳥・古市古墳群」の登録が決定
- 11 月 「あれ？これ！こふん！」の冊子発行
- 令和 2 年 5 月 第 16 回総会において第 6 代会長 坂谷 義彦を選出
- 10 月 コロナ禍の中、会員の交流を深めるため「ボラボラ通信」を 15 号まで発行
- 令和 3 年 3 月 レクレーションプロジェクトが発足
- 5 月 コロナ禍で「郷土の歴史講座」を令和 3 年度のみ中止
- 令和 4 年 10 月 世界文化遺産「百舌鳥古市古墳群」登録 3 周年の記念ウォークを実施
- 12 月 「古墳作りプロジェクト」旧道明寺東幼稚園で開催に参加
- 令和 5 年 7 月 「弘法大師御休石」の改修に協賛
- 令和 6 年 5 月 第 20 回総会において第 7 代会長 松村 義子を選出
- 令和 7 年 2 月 世界文化遺産「百舌鳥古市古墳群」登録 5 周年の記念講演会を実施
- 11 月 「藤井寺市市民表彰」を産業経済の部で受賞 桃井 克夫
- 11 月 「創立 20 周年記念ウォーク」を実施
- 令和 8 年 3 月 「創立 20 周年記念大会」を実施
- 3 月 「創立 20 周年記念誌」を発行



初代会長  
林 隆次



第 2 代会長  
幸田 保



第 3 代会長  
中西 明



第 4 代会長  
小野 常芳



第 5 代会長  
鈴木 繁實



第 6 代会長  
坂谷 義彦



第 7 代会長  
松村 義子



発刊にあたって

藤井寺市観光ボランティアの会は平成17年に発足して20周年を迎える事ができました。この20年間、藤井寺市の歴史、文化の紹介だけでなく、自然とそこに生活をする人達との交流などのあたたかいおもてなし方を、教えていただいた諸先輩に深く敬意とお礼を申し上げます。

令和元年7月には念願の百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録されました。藤井寺にたくさんの人たちをお迎えしてガイドをと思った折り、世界に猛威を振るったコロナ禍がありました。活動が制限される中、ガイドの方法や会員相互の交流のため、ボラボラ通信や、レクレーションプロジェクトの発足など、みんなで考えて頑張っていました。

今回、記念誌を刊行できましたことは、会員の皆様、並びに関係各位のご協力がなくてはできませんでした。感謝申し上げます。

この記念誌が、藤井寺市観光ボランティアの会のこれまでのあゆみを共有し、未来へ向けての新たな一歩を踏み出すきっかけとなれば、これ以上の喜びはありません。

改めて、20年の歴史を積み上げてきたすべての皆様に心より感謝いたします。

令和8年3月 藤村 美智子



### 藤井寺市観光ボランティアの会

Fujiidera Volunteer Tourism Club

〒583-0024 大阪府藤井寺市藤井寺 3-1-20

アイセルシュラホール・藤井寺市観光協会内

TEL : 072-979-7881 FAX : 072-952-7806

編集責任者：足立 敦子・小桑 明・藤村 美智子・森 芳明

発行者：藤井寺市観光ボランティアの会 令和8年3月30日

